

タイトル	2024 度 一般入試（後期日程） 医学部保健学科 小論文Ⅱ
評価の ポイント	<p data-bbox="391 450 1465 573">1 途上国における貧困と障害に関する問題で、基本的な読解能力や問題解決能力等を評価した。評価においては、次のような点を特に重視した。</p> <ul data-bbox="391 584 1029 707" style="list-style-type: none">・本文の記述に沿って、適切に説明できているか。・問われた内容を正しく理解しているか。・文脈を理解し、論理的に説明できているか。 <p data-bbox="391 797 1465 920">2 脳の発達について説明した文章を問題とし、基本的な読解能力や問題解決能力等を評価した。評価においては、次のような点を特に重視した。</p> <ul data-bbox="391 931 1114 1055" style="list-style-type: none">・本文の記述に沿って、適切に説明できているか。・問われた内容を正しく理解しているか。・文脈を理解し、論理的に考察し、それを説明できるか。 <p data-bbox="391 1144 1465 1267">3 睡眠と脳の関係に関する問題で、基本的な読解能力や問題解決能力等を評価した。評価においては、次のような点を特に重視した。</p> <ul data-bbox="391 1279 1029 1402" style="list-style-type: none">・本文の記述に沿って、適切に説明できているか。・問われた内容を正しく理解しているか。・文脈を理解し、論理的に説明できているか。

氏名	
----	--

受験番号	
------	--

医学部保健学科小論文Ⅱ解答用紙 その1
(後期日程)

1

問1

貧困層とは1日1.9ドル以下の生活を送る人々のことを指す。
現在、世界の1割にあたる約7億3600万人が貧困層にあたり、
その約85%が南アジアとサハラ以南のアフリカに存在している。
(83文字)

--

問2

障害によって生じる障壁や経費がさらなる貧困を招く。福祉を担う
社会制度の不備も困窮を助長するため (47文字)

--

小計

氏名	
----	--

受験番号	
------	--

医学部保健学科小論文Ⅱ解答用紙 その2
(後期日程)

1

問3

利益がなければ支援を続けることは難しい。もし支援が止まって
しまうと、その人を助けられなくなるというのは矛盾であり、
互いに利益のある関係を築くことが持続可能な支援につながると
考えるため(91文字)

--

問4

貧困問題など多くの社会問題は私たちの身近な所にも存在している。
今生きている環境でどう周りの人たちと向き合うかについて
考えることが世界レベルの貧困問題に取り組む基本的姿勢であるため
(89文字)

--

小計

氏名	
----	--

受験番号	
------	--

医学部保健学科小論文Ⅱ解答用紙 その3
(後期日程)

2

問1

目や耳や皮膚から得たいろいろな刺激を利用して、脳がもっている不 ----- 完全なネットワークの機能を、完全な形に改良していくという性質 (61文字)
--

--

問2

視覚が正しくはたらくためには、左目からの情報と、右目からの情報 ----- が脳の中で別々に処理されないといけませんが、赤ちゃんの脳のネット ----- ワークはまだ不完全で、左目からの情報と右目からの情報が混線 ----- しているから (97文字)
--

--

問3

視覚の臨界期が過ぎないうちに手術をすることが必要。臨界期を過ぎ ----- ると、手術で水晶体の曇りがとれても、目から入った刺激で視覚の ----- ネットワークが改良されず、完成しないため、正常な視覚が ----- 得られなくなる。(96文字)

--

小計

氏名	
----	--

受験番号	
------	--

医学部保健学科小論文Ⅱ解答用紙 その4
(後期日程)

3

問1

①恒温動物は、身体の内部環境を自ら一定のレンジに保つことが
できるため、環境に対する適応力は大幅に飛躍した。(52文字)
②体温を保つために常にエネルギーを燃やし続けなければならない、大
量の食物が必要である。そのため、食物の欠乏にはひどく弱い。
(59文字)

--

問2

高等動物で発達した脳は、体温を一定に保つ恒温動物としての限界
をさらに超えて、膨大なエネルギーを消費する。そして、活性酸素の
ような有害な老廃物も産生するし、機能変調が起こりやすいという脆
弱性を持つ。長時間働かせていると身体が供給できるエネルギー量
では足りなくなる。(139文字)

--

問3

皮膚から熱を積極的に逃がすシステムが働くと、身体の内部の温度が
下がると同時に、頭の内部にある脳の温度が下がっていく。
体内の温度が下がると、生命を支えている体内の化学反応が不活発化
する。つまり代謝が下がり、休息状態になる。(110文字)

--

小計